

第 17 回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について
2. 公共交通ガイドの発行について
3. サイクル&バスライドについて
4. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて

平成28年3月30日

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について

お出かけには公共交通を利用しましょう！
〜乗って守ろう！使って育てよう！公共交通〜

鉄道やバス、タクシーなどの公共交通は、市民の皆さんの通勤・通学・通院・買い物などの日常生活を支える大切な移動手段です。また、自家用車の利用を控え、公共交通を利用することは、交通渋滞の緩和や二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

バスには羽田空港など都心と青梅とを結ぶ路線もあり、タクシーは運行時刻の制約がなく、ドア・ツー・ドアのサービスも魅力的です。

公共交通を利用し、いつものとは違った気分を出かけてみませんか。

問い合わせ まちづくり推進課



「広報おうめ」平成28年3月1日号(46, 600部印刷発行)

2. 青梅市公共交通ガイドの発行について

公共交通の利用促進を図るため、平成27年度版「青梅市公共交通ガイド」を発行する。

○ 配布先

・自治会加入世帯	29,510 部
・各市民センター	1,100 部
・市民会館、中央図書館、総合体育館	300 部
・総合病院	300 部
・青梅市観光協会、青梅観光案内所など観光施設	500 部
・都交通局、西東京バス、西武バス、京王自動車、御岳登山鉄道	700 部
・その他、鉄道駅や市役所など	

転入者MM用として、転入世帯にも配布する。

市ホームページ(電子データ)にも掲載している。

バス・タクシー乗り場

▼ 青梅駅
東青梅駅(北口)
東青梅駅(南口)
河辺駅(北口)
河辺駅(南口)
小作駅(東口)
小作駅(西口)

バスの利用方法

- バス停の位置、バスの先行、発車時刻を確認します。
- 青梅のバスは入口は後・出口は前です。利用する区間によって、運賃が変わります。
- バスが来たら入口から乗車します。
【PASMOやSuica等で利用する方】→入口でタッチします。
【現金で利用する方】→入口で整理券を受け取ります。
- 降りるバス停の案内がありましたら降車ボタンを押します。
- バスが止まったら出口に進みます。
【PASMOやSuica等で利用する方】→出口でタッチして降車します。
【現金で利用する方】→運賃と整理券を運賃箱に入れて降車します。

青梅市 公共交通ガイド

公共交通は 環境にやさしく 交通渋滞の抑制や 生活防犯・防災・ダイエットなど健康面 からも 望ましい乗り物です。 あなたも 公共交通を 使ってみませんか。

タクシー 24時間無線配車

下記の無線センターで24時間無線配車を受付けています。早朝などは車両が少ないため配車できない場合があります。 京王自動車青梅・小作地区無線センター TEL (0428) 22-2612

スマートフォンで、簡単・確実にタクシーを呼べるアプリもあります。 Google play / App Store →「京王自動車」検索 →京王自動車タクシー配車多摩版

ペーパークーにお子様を乗せたままで、バスを利用することができます。

- ペーパークーは、車いすスペースの座席横に、後ろ向きに車輪のストッパーをかけ、備え付けの補助ベルトで固定し、乗車中は手でしっかりと支えてください。
- 車いす利用の方が優先です。
- 車内混雑時やペーパークーが2台を超えた場合などは、折りたたんで利用してください。また、バスによっては、折りたたまないで利用できない場合があります。

主な場所への行き方

凡例 【降車バス停・駅/利用する系統】

■ 市の施設

- 青梅市役所【東青梅駅/JR青梅線】
【青梅市役所/梅74甲、梅76甲、梅77丁、河14】
- 総合病院【総合病院/梅77丁、河14、版41】
【総合病院入口/青21、河13、小05】
- 市民会館【青梅駅/青20、青21】
【青梅駅または仲町/梅70、梅74甲、梅76甲・丙、梅77甲・乙・丙】
- 中央図書館 5 総合体育館
【河辺駅北口/梅77甲、河11、入市32】
【河辺駅南口/②と同じ系統】
- 北小倉木ふれあいセンター【北小倉木/梅76甲】
- 釜の淵市民館【大柳/梅76丙、梅77乙・丙】
- 市民斎場【市民斎場/河14】
- 郷土博物館【郷土博物館入口/梅77乙・丙】
- 市立美術館【滝の上/梅76丙、梅77乙・丙】

■ 市民センター

- 青梅市民センター【青梅駅/③と同じ系統】
- 長瀬市民センター【中瀬/河13、河14、青20、青21】
- 大門市民センター【大門市民センター/梅77甲】
【霞橋/河11】【J A西東京/入市32】
- 梅郷市民センター【吉野梅林/梅76丙】
- 沢井市民センター【沢井駅/JR青梅線】
- 小倉木市民センター
【青梅第七小学校/梅74甲・乙・版41】
- 成木市民センター
【成木市民センター/梅74甲・乙、梅76甲】
- 東青梅市民センター【西多摩保健所/梅70、版41】
【東青梅五丁目/梅77甲、梅74乙】
- 新町市民センター【新町小学校入口/梅70】
【新町四丁目/河11】
- 河辺市民センター【河辺駅、小作駅/JR青梅線】
- 今井市民センター【今井市民センター前/入市32】

■ バスで出かける観光・レジャースポット

- 塩船観音寺【塩船観音入口/梅77甲、河11】
- 次上しようぶ公園【次上しようぶ公園入口/梅77甲】
- 岩蔵温泉郷【岩蔵温泉/梅74甲・乙・版41】
- 花木園【小倉木診療所/梅74甲・乙、版41】
- 高水三山【上成木/梅76甲】
- 青梅市梅の公園【吉野梅林/梅76丙】
- 青梅きもの博物館【吉野梅林/梅76丙】
- 即清寺【即清寺/梅76丙】
- 吉川英治記念館【梅木/梅76丙】

運行情報

運行情報は、以下のURLまたはQRコードからアクセスできます。

- 西武バス株式会社 <http://loca.seibubus.co.jp/>
- 東京都交通局 <http://tobus.jp/>
- 西武バス株式会社 <http://www.ntbloc.com/blsys/loca>
- 東日本旅客鉄道株式会社 http://traininfo.jreast.co.jp/train_info/kanto.aspx

情報の作成に当たっては、十分注意しておりますが、万一、表記の誤りなどがございましたら、何卒ご容赦願います。

青梅市まちづくり経済部まちづくり推進課 TEL (0428) 22-1111

羽田空港連絡バス/都心・立川方面からの深夜バス

羽田空港行(平日)	河辺駅北口	小作駅東口	羽田空港	羽田空港	羽田空港
3:30	3:58	5:44	5:49	5:59	
4:30	4:58	6:24	6:29	6:39	

都心→河辺駅行(平日)	東青梅北口	東青梅南口	西小倉	新町西口	小作	河辺
0:00	0:10	0:20	0:31	0:55	2:10	2:15

立川→河辺駅行(平日・土曜)	立川中央	小作	河辺	河辺
1:15	2:00	2:03	2:12	

【青梅市からのお願い】 私たちの大切な「足」である公共交通機関は、皆さんに利用していただくことで成り立っています。しかしながら現状は、運賃収入だけで運営することが困難になっています。公共交通を本来の持ちこたえ続けるためには、地域ぐるみで守り育てていく必要があります。ぜひ、積極的な公共交通のご利用をお願いします。

※本紙の情報は、平成26年3月現在です。それ以降の時刻変更等は、各交通機関でご確認ください。
 ※バス停名は、同一バス停でも事業者によって若干異なる場合があります。
 この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平27第1種 第649号)

3. サイクル&バスライドについて

今井地区における「サイクル&バスライド」の提案

1. サイクル&バスライドについて

青梅市公共交通基本計画（平成25年3月）では、市街地の公共交通空白地域を改善するため、バス停から遠い地区からでも自転車でバス停にアクセスできるようにする「サイクル&バスライド」の導入を提案しています。

今井地区では3つのバス路線が運行されていますが、小作駅方面や河辺駅方面に対しては、バス停まで遠く、バスを利用しづらい地区がみられます。

これらの地区の改善に向けて、「サイクル&バスライド」の導入を提案します。

2. サイクル&バスライドのイメージ

小作駅方面と河辺駅方面への両バス路線が通る「七日市場」バス停付近にバス利用者向け駐輪場を設置して、バス停まで自転車で来られるようにします。

①自転車でバス停付近の駐輪場へ

②自転車を駐輪

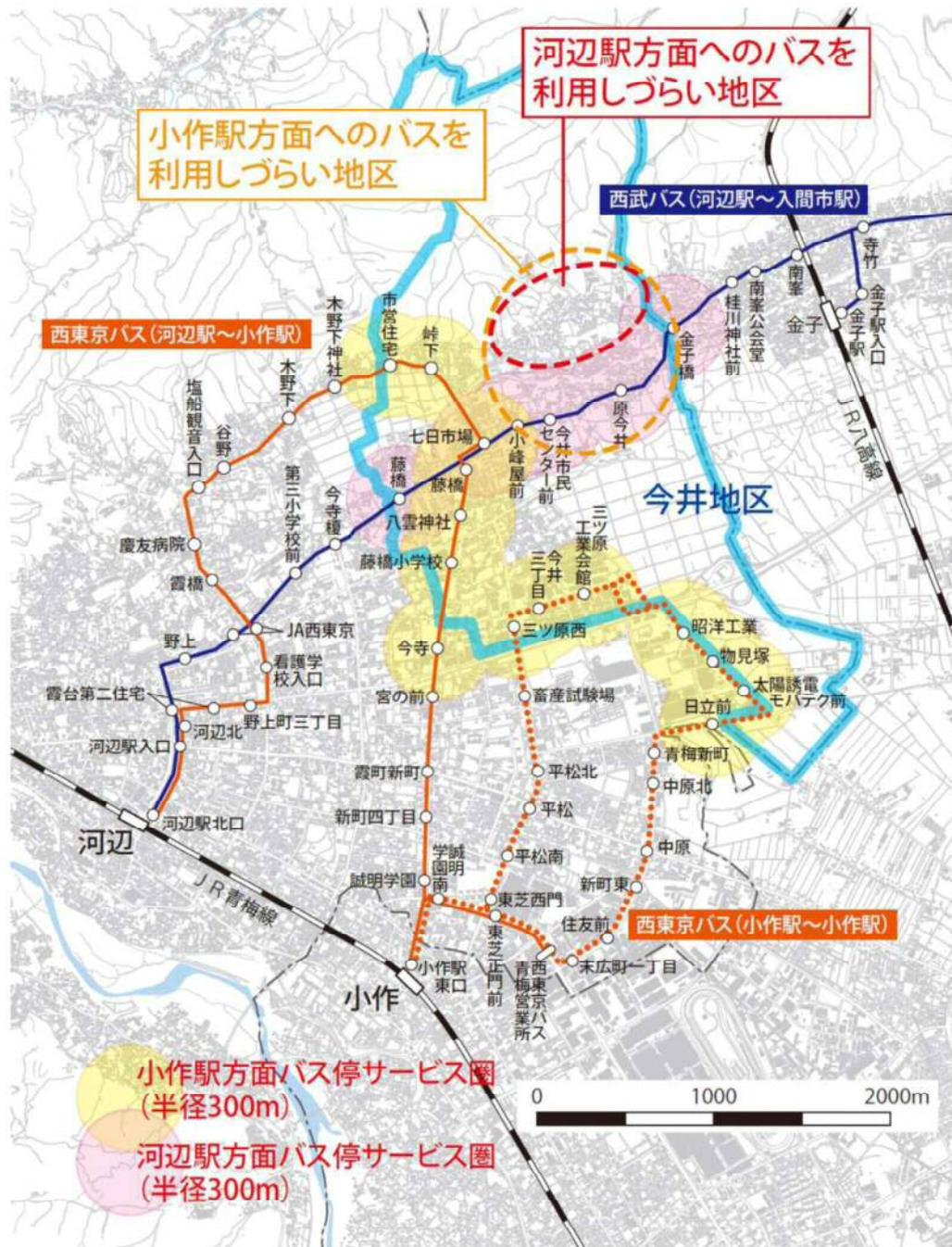
③バス停からバスに乗って小作駅や河辺駅へ



3. サイクル&バスライドのメリット

このようにすることで、バス停から離れた地区に住んでいる方も、バスで小作駅や河辺駅へ行くことができます。

また、自転車で直接、小作駅や河辺駅方面へ行っている方も、帰りに坂道を登ってこなくて済みます。



4. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて

成木地区においては、地区内の公共交通である都バス梅76・梅74系統が、平成26年4月より減便となった。このため、地域への影響把握や今後の対策等の検討を図るため、「地域住民による地域公共交通改善の手引き」(平成26年度青梅市公共交通協議会で策定した地域公共交通改善制度の支援マニュアル)にもとづき、成木地区公共交通検討委員会を発足した。検討状況は次のとおりである。

参考 梅76・梅74系統の運行本数

	梅76 (上成木発)	梅74 (成木市民センター発)
平成26年3月まで	<u>9本/日</u>	21本/日
平成26年4月から	<u>5本/日</u>	19本/日

(1) 構成メンバー

成木地区自治会長等12名

(2) 取組状況

【平成26年度】

● 第1回(平成26年5月27日)

青梅市における公共交通の現状
地域公共交通改善制度について
成木地区における地域公共交通の現状・課題について
成木地区における地域公共交通の改善策について

● 第2回(平成26年6月17日)

「成木地区の交通に関するアンケート」の実施について
地域公共交通の運行形態等について

● 「成木地区の交通に関するアンケート」の実施(平成26年7月1日～7月27日)

各自治会を通じて、世帯ごとに世帯人数分を配布・回収

● 第3回(平成26年8月26日)

「成木地区の交通に関するアンケート」の結果について
成木地区における地域公共交通の運行形態等について

● 第4回(平成26年10月6日)

成木地区における地域公共交通の今後の方向性について

【平成27年度】

- 第5回(平成27年6月12日)

成木地区公共交通検討委員会の委員改選について
青梅市公共交通基本計画(概要版)について
地域住民による地域公共交通改善の手引きの改正について
地域公共交通改善制度(概要版)について
今後の方向性について
成木地区における新たな交通にかかる交通事業者からの回答について
成木地区公共交通検討委員会の進め方(案)について

- 第6回(平成27年9月28日)

成木地区における新たな交通にかかる需要調査について

- 第7回(平成27年11月11日)

情報公開請求について

- 「成木地区における新たな公共交通に関するアンケート」の実施(平成27年11月)

成木5～8丁目を対象に、各自治会を通じて、世帯ごとに世帯人数分を配布・回収

- 第8回(平成28年2月10日)

情報公開請求について
成木地区における新たな交通にかかる需要調査結果について

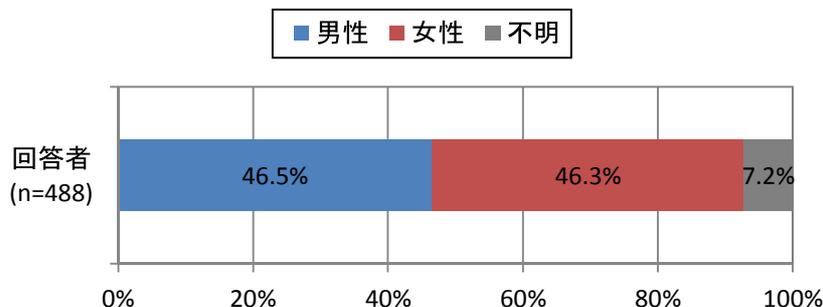
(3)「成木地区における新たな公共交通に関するアンケート」の概要

- アンケートの配布数は624票*で、回収数が488票だったことから、回収率は78.2%となった。
 (*配布数624票は5歳未満を含むため、実際はこれより少なく、回収率は高くなる)

(1)回答いただいた方の性別、年齢、職業、自動車の利用環境は以下のとおりです。

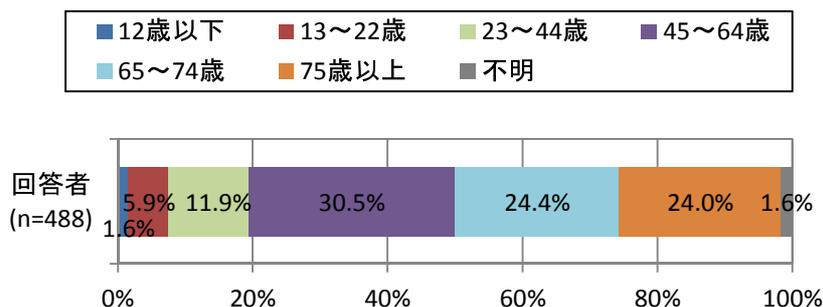
①性別

- 回答者の性別は、概ね男性と女性が半々となっています。



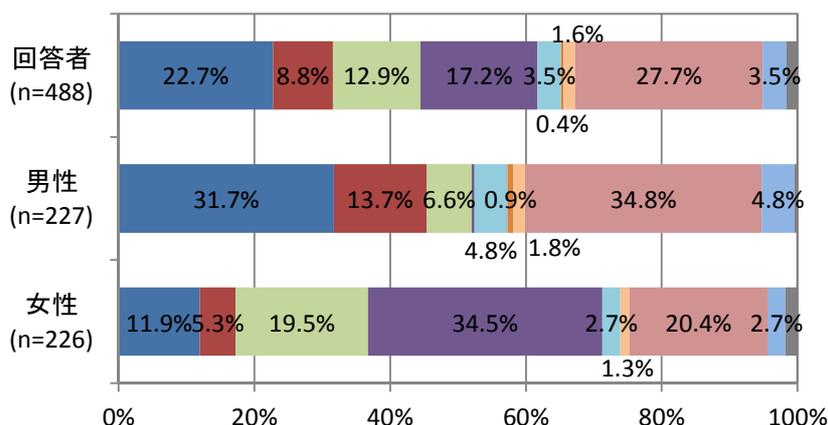
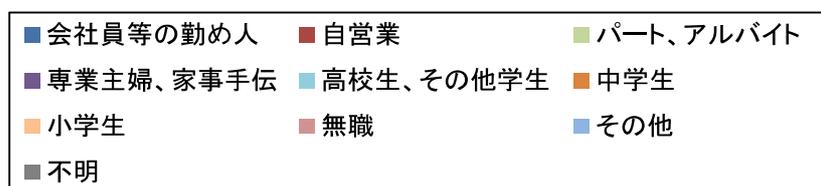
②年齢

- 回答者の年齢は、約5割が65歳以上の高齢者、約3割が高齢者になる前の世代となっています。



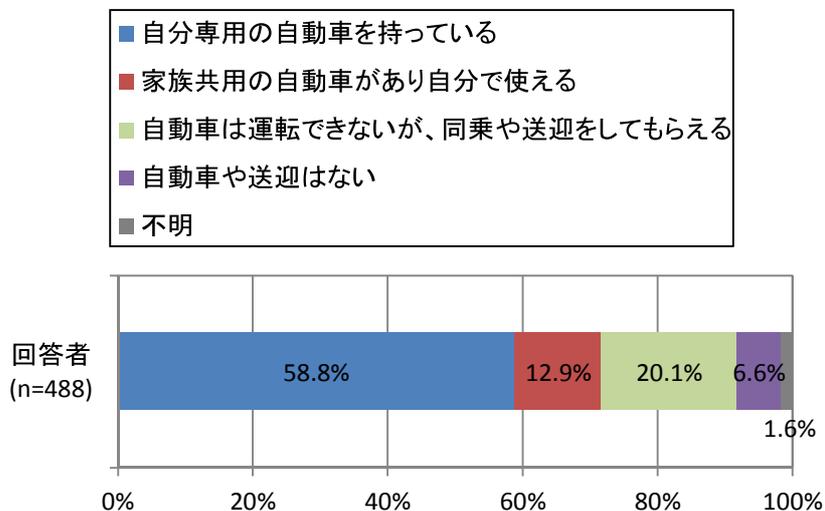
③職業

- 回答者の職業は、男性は会社員等勤め人、無職がそれぞれ3割以上を占めているのに対して、女性は専業主婦が3割以上、パート・アルバイトと無職がそれぞれ2割程度となっています。



④自動車の利用環境

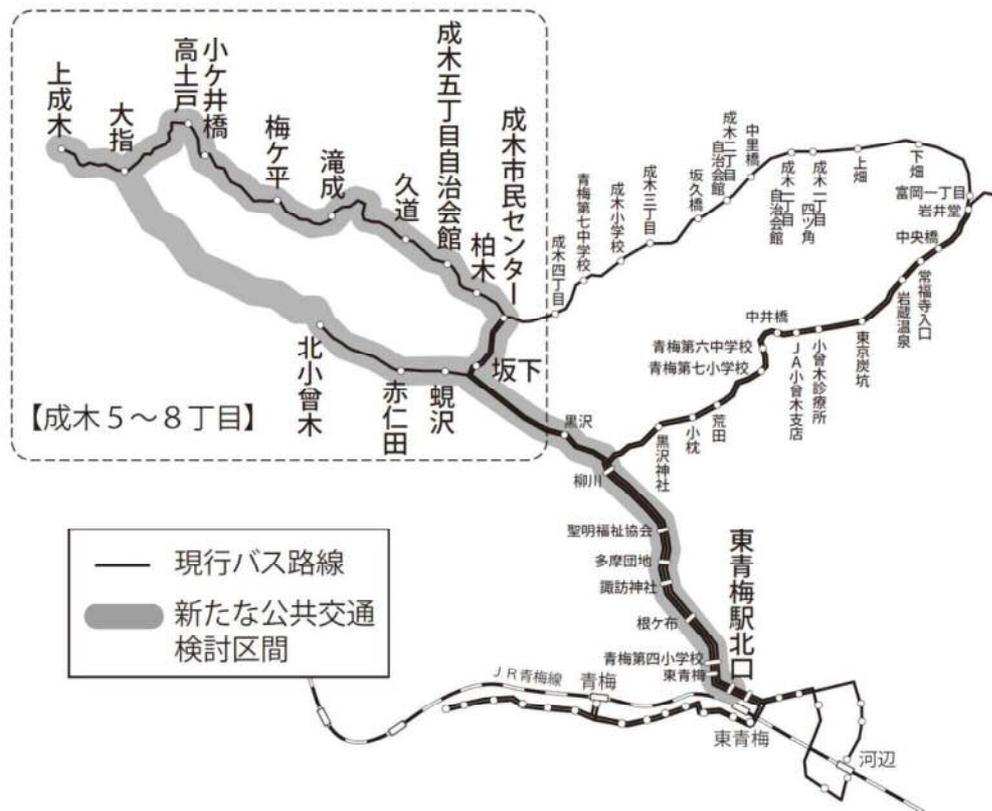
- 自動車利用環境は、専用・共用合わせて7割以上が自動車利用可能で、2割が同乗・送迎可能、自動車が利用できない人は1割弱となっています。



(2)「新たな公共交通」の概略運行計画(素案)に対するご意見をうかがいました。

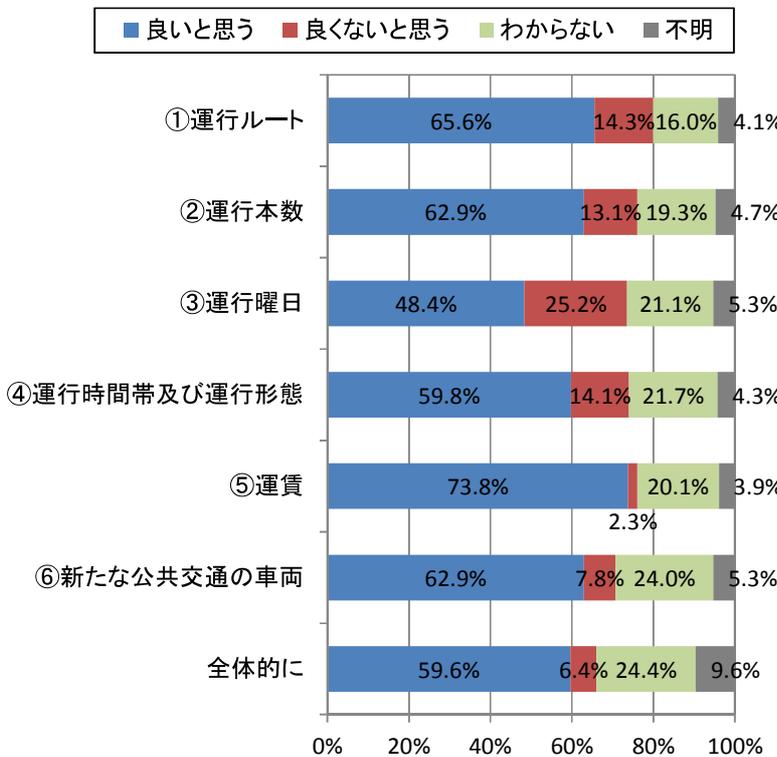
「新たな公共交通」の概略運行計画(素案)

サービス項目	サービス内容
①運行ルート	東青梅駅北口→成木5～8丁目→東青梅駅北口 ※成木5～8丁目地区内のまわり方は未定です。 ※坂下～東青梅駅北口間のバス停では乗り降りできません。
②運行本数	1日9本
③運行曜日	月～土(日・祝運休)
④運行時間帯及び運行形態	・午前7時台から午後7時台まで運行 ・時刻と経路が決まっている運行
⑤運賃	現行の都営バスと同程度
⑥新たな公共交通の車両(イメージ)	  または



概略運行計画(素案)に対する評価、改善要望

- サービス項目のうち、良くないと思うの割合が最も高いのは、③運行曜日で 25.2%、次いで①運行ルート、②運行本数、④運行時間帯及び運行形態が 13~14%となっています。
- 概略運行計画(素案)に対する改善要望が多かった意見は、以下のとおりです。

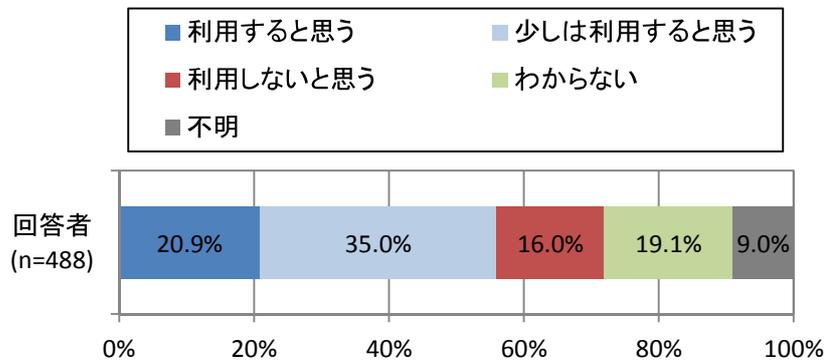


サービス項目	改善要望
①運行ルート	白岩地区まで運行してほしい
②運行本数	運行本数を増やしてほしい
③運行曜日	日曜・祝日も運行してほしい
④運行時間帯及び運行形態	午後8時以降の運行をしてほしい 午前7時前の運行をしてほしい

(3)「新たな公共交通」の利用についてうかがいました。

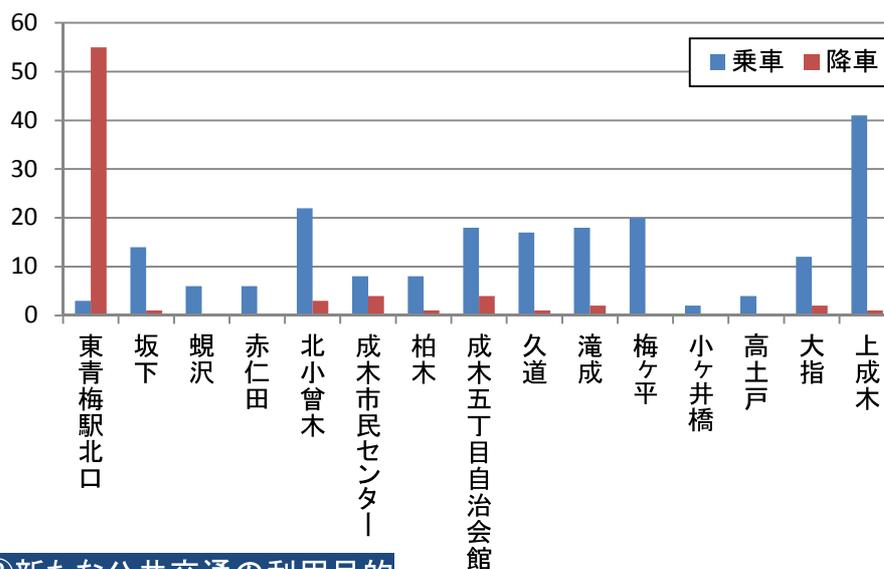
①新たな公共交通の利用意向

- 利用すると思う、少しは利用すると思うは、合わせて 55.9%となり、利用頻度はともかく、本地域の半数以上の方は利用意向を示しています。



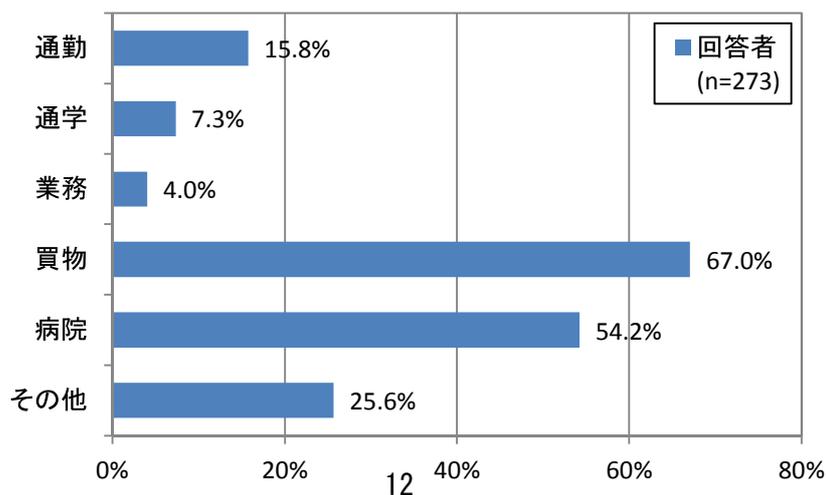
②新たな公共交通の利用区間

- 乗車バス停は、上成木が最も多く、次いで北小曾木、成木五丁目自治会館、久道、滝成、梅ヶ平が多くなっています。
- 降車バス停は、東青梅駅北口がほとんどとなっています。



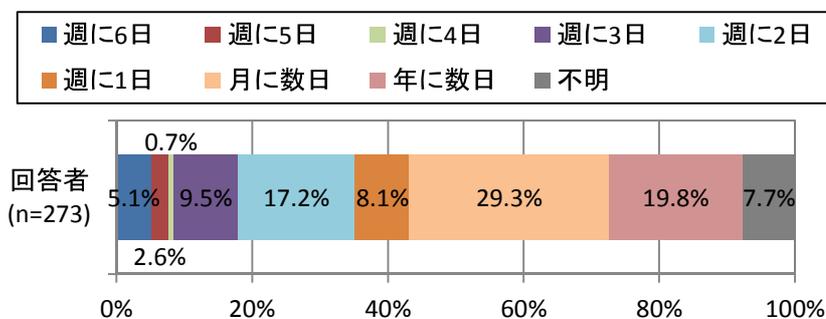
③新たな公共交通の利用目的

- 利用目的は、買物 67.0%、病院 54.2%が多くなっています。



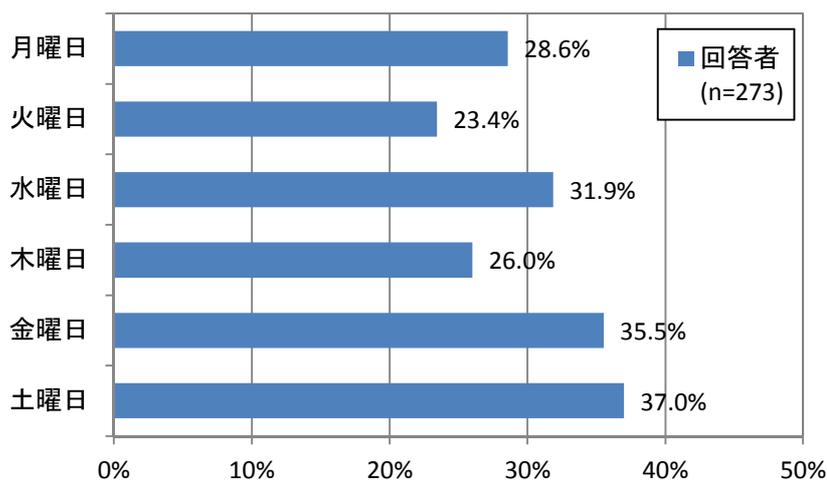
④新たな公共交通の利用頻度

- 利用頻度として多いのは、月に数日 29.3%、年に数日 19.8%で、約5割の人は低頻度の利用となっています。
- 一方、週1日以上利用する人は、合わせて43.2%となっています。



⑤新たな公共交通の利用曜日

- 利用曜日は、土曜日や金曜日の週末が多くなっています。



⑥新たな公共交通の利用時間帯

- 利用時間帯は、行きが7～9時台を中心とする時間帯で、帰りは14～20時の時間帯で多くなっています。

